



有限
会社

旭養鶏舎



みつけた
しまねのファーマーズ
竹下 靖洋さん
[石見銀山地区本部]

特集 農業は島根で!!





有限会社旭養鶏舎
代表取締役社長

竹下 靖洋さん(45才)

今月は、石見銀山地区本部。大田市波根町で養鶏及び玉子の加工・販売を行う有限会社旭養鶏舎の代表取締役社長・竹下靖洋さんにお話を伺いました。



飼料へのこだわり

大田市波根町にある有限会社旭養鶏舎は、今年で60期を迎える長い歴史を持つ養鶏場です。現在33万羽の鶏を飼育し、1日当たり24万〜26万個の玉子を出荷しています。旭養鶏舎がこだわっているのは、鶏に与える飼料。安全で美味しい卵を産んでもらうため、まずは鶏を健康に育てるということに重点を置いています。

主力商品である「ネッカエッグ」は、飼料にネッカリッチ（木酢酸混合飼料）と海藻を与えて育った鶏から産まれた「たまご」。それをベースに、えごまや飼料米など地元で収穫した栄養満点の飼料を加えて与えた「えごま玉子」や「こめたまご」など数種類のラインナップがあり、島根県内外に出荷しています。中でも県内への出荷数は全体の7割を占め、そこには、竹下社長、そして会長（前・社長）である竹下正幸さんの「まずは地元・島根県の皆さんへ安定的に玉子を提供したい」という強い思いが込められています。



安心・安全のため積極的に機械を導入

ひよこの育成から採卵、洗卵、パック詰め、出荷まで一連の作業を全て担う旭養鶏舎では、衛生的かつ安全に作業を進めるため、かなり早い時期から最先端の設備を導入しています。例えば、水やエサやりはもちろん、鶏舎の空調管理やどこで卵が産まれたかなど細かい作業に至るまで機械化され、今では鶏の糞の処理までボタン操作で可能になっています。汚れる仕事だからこそきっちり設備投資をして、なるべく手を煩わせることなく作業を行えるようにと衛生面への配慮も徹底されています。

また、日本で初めてA-1技術を使い、卵を取り出す機械を導入。人工



ほぼ全ての作業を機械化しています

知能を駆使して更なる効率化を図っています。「パック詰めまでほぼ全ての作業が機械なので、実はいちばん最初に玉子に触るのはお客様なんです」と話す竹下社長。ミスなく安全なものを届けられることによって、より顧客の信頼に繋がっています。

6次産業化への取り組み

平成26年に、かねてから念願だった鶏卵加工品の加工・直売所を自社内に設立。玉子とうふ、厚焼き玉子、茶わんむしなどの惣菜品に加え、プリンやアイスなどの洋菓子の販売を開始しました。当初、惣菜商品はスーパーでの売り出し用のみの製造でしたが、最近ではお弁当屋さんや惣菜屋さんなどにも提供し、それぞれの店によって味や焼き目などを変え顧客の細かい要望に応じていま



直売所



多くの商品が
店頭並びます



新商品の
チーズタルト



す。また、今年から洋菓子の製造に力を入れるため設備を増やし、ロールケーキやチーズタルトなどの新商品を次々と開発。販売当初から、すでに人気商品であったプリンも今回ブランド化に際して品質改良。さらに外部発注されていたシュークリームも自社で製造できるようにしました。それら新ブランド「ヴァーグあさひ」として売り出し、今後もより一層販売を強化していく計画です。

働きやすい環境づくり

養鶏業といえば、休みがないというイメージがもたれませんが、そんな中、旭養鶏舎では週休2日制の導入や福利厚生充実など、従業員のワークライフバランスに気を配りながら働きやすい環境づくりを心がけています。また、前述のようにできるだけ多くの手作業を機械化することで、生産性の向上、ミスの減少、人手不足などをカバーし、それが従業員のモチベーション維持にも繋がっています。現在、従業員は60名。「いかに長く続けて働いてもらえるか」ということを考えています」と竹下社長は常に従業員の気持ちに寄り添う姿勢を欠かしません。

そんな竹下社長に趣味をお尋ねすると、唯一の趣味だったという「息子たちの野球観戦」は大学進学とともに終了。「今はゴルフと言いたいところですが、付き合ひ程度で趣味ではないですね。やっぱり今は仕事が一番！」



働きやすい環境づくりに力をいれる竹下社長（左）

とキツパリ。自ら畜産関連学部に進学されたという息子さんと、ゴルフが楽しめるようになればと、将来の姿についても笑顔でお話いただきました。

地元はもちろん、 全国にも美味しい玉子を届けたい

大田市は県外への出荷ルートが確保しにくい立地ですが、それを逆手に取り、島根県内への供給に力を注ぐ旭養鶏舎。県内の他の養鶏場とも連携し、「まずは地元の方に美味しい玉子を食べてもらえよう、従業員一同思いをひとつにして一生懸命取り組んでいます」と語る竹下社長。今後は県外への出荷拡大も視野に、新しくブランド化された洋菓子をはじめ、まだまだ伸び代があるという6次産業の新たな商品開発や販売など、竹下社長の挑戦は続きます。

プチっと情報！

ヴァーグあさひ

「ヴァーグあさひ」は、旭養鶏舎が新たに立ち上げた統一ブランド。「ヴァーグ」はフランス語で「波」を意味し、会社の住所である大田市波根町にちなんでいます。



ロールケーキやチーズタルトなど新たな商品に加え、お馴染みの「あさひプリン」も品質を改良し、ブランドの仲間入りしました。この機会にぜひご購入ください!!



島根で!!

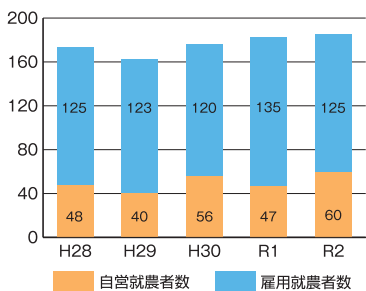
島根県内では毎年多くの新規就農者が誕生しているのをご存じですか？近年増加傾向にあり、令和2年度は185人の新規就農者が誕生しました。その中には県内出身者だけでなく、県外からの1ターン就農者も大勢いるんです!!今回は遠い地から島根を選び、現在もバリバリに活躍する1ターン就農者をご紹介します!!

その 2

就農後の支援

栽培技術の向上や
経営管理などの研修会の開催、
資金の調達や設備投資への支援、
販路の確保など、様々な角度
から支援を行います

島根県新規就農者数



おおもり ゆうすけ 安来市下坂田町 大森 雄介さん(45才)



「お客さんの声を直接聞くモチベーションがあります」と笑顔で話すのは、安来市下坂田町でイチゴの観光農園「大森ファーム」の代表を務める大森雄介さん(45)。神奈川県から1ターン就農し、妻の裕美さんと「紅ほっぺ」「かおり野」「よつぼし」を約20アールで栽培しています。東京の通信会社でIT技術職として働いていましたが、このまま管理職となり、自分のやりたいことがやれなくなるかもと考え、もともと実家が農家で、農業が身近な存在だったこともあり、妻の裕美さんと農業人フェアなどに参加。行政の支援がきっかけで、具体的な経営イメージがわいたことから安来市への1ターンを決意し、2016年9月に家族で移住しました。

取材時(4月初旬)はイチゴ狩りシーズン真っ只中!ハウスの中はあま〜いイチゴの香りが広がっていました



最初の2年間は、安来市の新規就農研修制度を受講。2年目にはJAのハウスを借りて自力で栽培から出荷まで行い、経験を積みました。2018年9月に就農し、「大森ファーム」を開業しました。昨年3月からは、観光農園もスタート。「予約電話が鳴りやまず、予想を超える反響に驚いた」と当時を振り返ります。しかしその1ヵ月後には、コロナの影響でキャンセルが相次ぎ、急遽JAを通じて市場に出荷することに。その結果、市場から量を増やして欲しいとの声が上がリ関係性も強化されるなど、怪我の功名となりました。こだわりは、適期での水の管理。水を多くあげると大きくなり、多過ぎると味に影響がでるため、センサーとシステムを導入し、任せることで適切な水分量を維持しています。また、作業の省力化にもつながっています。大森さんは「今後この地域から若い人が出ていかないよう、働く場所・遊ぶ場所として機能させていきたい」と意気込みを話しました。



あおやま まさゆき 出雲市大津町 青山 正幸さん(48才)



「満足できていない。まだまだこれからですね」と力強く話してくれたのは、福島県から1ターン就農し、出雲市大津町でキュウリやトマト・カボチャ・神在ねぎ・ダイコン・お盆用の小菊など多品目を栽培する青山正幸さん(48)。栽培面積を拡大させて挑む今年も「買っていたいただいた方の期待に応えたい」と更なる向上を目指し取り組んでいます。地元福島県で会社員として働いていた青山さんは、2011年の東日本大震災で被災し、東京都で待機生活を送っていました。今後について考えていた時、島根県のU・1ターン者向けの支援事業で農業を知り、1ターンを決意。「地元福島に似た豊かさがあって、住みやすい。今日まであったという間だった」と当時を振り返ります。最初の1年間は、同市で野菜を栽培している(株)おかずくらぶで研修を受け、基礎を学び、2015年に独立。現在、生活購買店舗ラピタや地元スーパーのグッデイ、くるみ市などの直売所へ新鮮な野菜を出荷しています。コロナ前までは、農家同士の打ち上げが楽しみだったという青山さんは、JAの農青連にも加入。「相談しながら農業ができ、頼もしい仲間との輪も広がっている」と笑みがこぼれます。「規模を拡大し、色々な品目にチャレンジしたい」と話す青山さんの目標は、「ご家庭に新鮮なサラダセットを届ける」こと。そのためには、



農業は

にしかわ
浜田市金城町 **西川** まさつね
正恒さん(42才)



「初収穫の時は、こんなに嬉しい気持ちになるんだというぐらい嬉しかった」と笑顔で話すのは、浜田市金城町でブドウを栽培する西川正恒さん(42)。大阪府から1ターン就職し、現在就農4年目。ピオーネやシャインマスカットなどを35アールで栽培しています。出荷2年目の今年は、全体で2.5トンの出荷を目指し、栽培に力を入れています。

まずはJAしまねの取り組みについてご紹介

JAしまねは行政と連携し、就農前から就農後に至るまで、新規就農者への支援への取り組みを行っています。

その1

研修生の就農に向けての支援

研修先での栽培指導や就農計画の策定の支援を行います

その3

充実した営農活動に向けた取り組み

～生産部会・青年連盟～

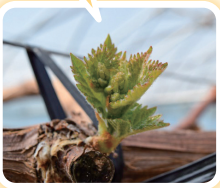
それぞれの事務局をJAが担っています。生産部会で栽培技術を磨き、青年連盟で農家同士の交流を広げることができます!

～TAC活動!～

TとことんA会ってCコミュニケーション!!の言葉どおり、担い手農家に出向き、意見や要望を伺い、JAの総合事業の強みを活かし、解決につなげていきます!

最初の3年間は、同町の株式会社藤若農産で研修し経験を積みました。師匠と仰ぐ同社の藤若将浩代表からは、「農業をしていきたいなら、まずは地域になじむこと」と教わり、町内会への参加や草刈りを率先して行うなど、地域の方との交流も深めてきました。独立したばかりの昨年、収穫目前でハウスに熊が入り、シャインマスカットをもぎ取られる被害に遭いました。「つらい経験を最初にして良かった。対策の大切さを身をもって感じた」と常に前向きに取り組んでいます。当初は、直売所に納品した際、その場に残り、お客さんのフリをして売れ行きなどを観察していたといいます。「手に取ってもらえるかドキドキした」と笑顔で振り返ります。JAしまねいわみ中央ぶどう部会にも加入し、更なる高みを目指す西川さんは「直売所でも市場でも指名買いやおいしいと言ってもらえるブドウを栽培したい」と意気込みを話しました。

取材時(4月初旬)は、ピオーネが発芽したばかり!ここから大きく成長していきます



担当課より一言

島根で「自分の農業」見つけませんか?

JAしまねでは関係機関と一体となり、U・Iターンの方や、農業に興味があり挑戦してみたいと考えている方の就農に向けた相談・支援を行っています。全面的に「あなたのやる気をバックアップ」しますので、ぜひご相談ください。

就農に向けた取り組みを 応援します!!

営農対策部 担い手対策課 澤津 賀一 課長



取材時(4月初旬)は、キュウリの栽培真っ最中!多くのキュウリが実っていました



年間計画をしっかりたて、同時に多品種の野菜を栽培し、いかに回転をよくするかが今後の課題と話します。青山さんは「お世話になった方へ感謝の気持ちを伝えるためにも、新鮮な野菜を届けていきたい」と今後の意気込みを話しました。





現場の声を
もっとう聞きたい

組合長が行く！



今月の
訪問先

JAしまね西いわみ地区本部管内

- 日原タラの芽生産組合
- 日原山葵生産組合
- 農事組合法人つつみだファーム

JAしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、JA自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJA運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。

このページでは「組合長が行く！」と題し、その様子をご紹介します!!



日原タラの芽生産組合



竹内組合長（右）から説明を受ける石川組合長

今回は、「日原タラの芽生産組合」「日原山葵生産組合」「農事組合法人つつみだファーム」の3組織を、石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。

「日原タラの芽生産組合」は、タラの芽やごごみ、うるいなどの山菜を栽培する生産者で構成。北九州を中心に山陰や名古屋などに出荷しています。コロナ禍において試食宣伝活動が制限されたため、レシピ動画を公開するなど工夫を凝らしたPRを実施しています。竹内和善組合長は、令和2年産の山菜の生育・販売状況や、今年度申請する島根県産地創生事業について触れ、「事業に取り組んでいくにはJAの全面的な支援が必要となる。バックアップをお願いしたい」と要望されました。JAの石川組合長は「地区本部と本店が一緒になって支援していく」と応えました。

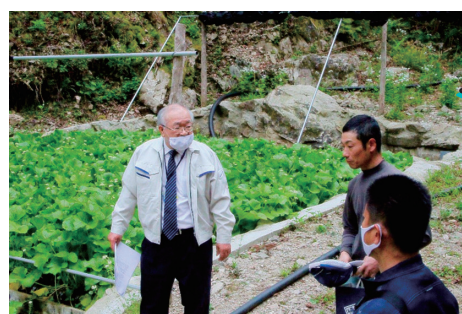
わさびを栽培する生産者で構成する「日原山葵生産組合」は、飲食店へ出荷するほか、加工用わさびの生産にも力を入れていきます。大庭敏成組合長は、畳石式わさび田の栽培方法や夏場の暑さ対策、活用しているJAのリースわさび水田の取り組み、今年度申請する島根県産地創生事業について触れ、「わさび栽培を盛り上げ、新規の方も迎え入れることができるような事業を行っていききたい」と力強く話されました。

「農事組合法人つつみだファーム」は、水稲やソバ、アスパラガスなどを栽培。県の集落営農体制強化スピードアップ事業等を活用し、重点推進品目であるアスパラガスのパイプハウスを建設。昨春作付けし、今年から出荷が始まりました。中島守組合長は、アスパラガス栽培に至るまでの経緯や生育状況、今後の販売について報告されました。石川組合長は「今後の規模拡大を期待している。ぜひ成功させてほしい」と期待を込めました。

農事組合法人つつみだファーム



中島組合長（左）と意見を交わす石川組合長（右）



リースわさび水田の前で意見を交わす大庭組合長（右奥）と石川組合長

日原山葵生産組合



★組合長から一言★



今回は西いわみ地区本部管内の3組織を訪問させていただきました。いずれの組織も、山間地にあり、地域を守るため、地域の特性を生かしながら懸命に農業に取り組んでいらっしゃる姿に感銘いたしました。

組合長より一句
鳴外の
郷の穂の芽
賜りぬ

次回7月号では、**やすぎ地区本部**を訪問した様子を掲載します。

topics
1

島根県農協青年組織協議会通常総会を開催



島根県農協青年組織協議会は4月26日、出雲市のラピタウェディングパレスで第67回JA島根県青協通常総会を開きました。来賓や盟友ら約55人が参加し、2020年度活動報告や収支決算、2021年度基本方針や活動計画など全6議案を承認しました。

21年度は①県青協ポリシーブック（政策集）を活用した要請活動や意見交換会等の実施②青年農業者が長期的に営農活動できる施策の要望・提案③県内外で発生した災害で被害を受けた農業者や青年組織の支援運動——などの基本方針のもと、活発に活動していくことを確認しました。また、農青連未組織地区であるJAしまね隠岐どうぜん地区本部の組織化に向け、活動を強化していきます。

役員改選では、会長に草野拓志さん（西いわみ青年連盟）、副会長に竹下洋介さん（出雲青年連盟）、古川敬さん（斐川青年連盟）、村上淳一さん（隠岐青年連盟）が再任。草野会長は「現状を打破するためには、JAや行政に対してしっかりと声を上げていくことも必要。皆さんも私たちに意見をぶつけてほしい」と呼びかけました。

総会後には、全国農協青年組織協議会の田中圭介会長が「JA青年部が地域にはたす役割」と題し講演しました。



草野会長（前列右から3人目）と決意を新たにす新役員

topics
2

JAしまね女性部通常総会開催



JAしまね女性部は4月28日、松江市のJAビルで第4回通常総会を開きました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、去年に引き続きウェブ会議システムで実施。2020年度活動報告や収支決算、2021年度活動計画など全5議案を承認しました。

21年度はJA女性組織3カ年計画の実践最終年度を迎えます。コロナ禍で需要が減退している島根県産農畜産物の消費拡大やPRへ取り組むことを目的に、新たに、11地区本部の女性部が管内の食材を使用したおかずやご飯の写真を収めた冊子「しまねのお弁当」を作成するなど、より一層女性部一丸となって活動することを確認しました。

役員改選では部長に高橋美佐子さん（再・雲南女性部）、副部長に飯塚順子さん（新・斐川女性部）、寺内洋子さん（新・島根おち女性部）を選出。高橋部長は「先の見えないコロナの時代ではあるが、少ないグループからでも、できることから取り組んでいきましょう」と意気込みを話しました。

総会後は、同JA斐川女性部の安食妙子さんが「私たちの活動拠点は『ふぁみーゆ』」と題し活動を発表しました。



意気込みを話す高橋部長

topics
3

JAしまね種子選穀センターが完成！竣工式を開催



JAしまねは5月19日、松江市宍道町に新設していた「JAしまね種子選穀センター」の完成に伴い、竣工式を開きました。JA役職員や関係者ら約30人が出席し、施設の完成を祝いました。

JAは、県内唯一の水稲・麦の種子供給事業を実施し、県内の水稲農家へ種子の安定供給の役割を担ってきました。施設の老朽化や、県が進める高品質で需要の高い「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導の需要に応えきれていないこと、また品目転換の作物である「大麦」種子の安定供給などが求められている現状から、新たなセンターの建設を決定。昨年11月から建設を開始しました。

新たなセンターには、種子選穀施設棟と種子生産高度化施設棟、下屋施設を設置。種子選穀施設棟では光選別機と最新の脱芒機を導入したことにより種子の高品質化が可能となりました。また種子生産高度化施設棟はラック管理によって品種別管理が可能となり、作業の効率化が図れるようになりました。



新しくなった種子選穀センター内部



種子生産高度化施設(保管倉庫)内部のラック



新たに完成した種子選穀センター

石川寿樹組合長は「施設の完成によって優れた種子を安心して供給することが可能となった。水田農業が基幹となる島根において、種子選穀センターが島根農業の更なる発展につながるよう努めていく」と意気込みを話しました。

輝く50万パワー☆ しまねの女性部！ くにびき女性部

地域のみなさんや、
女性部員が元気になる
楽しい活動を行っています

くにびき女性部は「食と農」を基軸とし、SDGs（エスディーゼズ）を意識した魅力ある楽しい活動を行い、内外に発信しています。

令和2年度は、コロナ禍で講座の中止や変更が相次ぐ中、季節の花の寄せ植え講座（6講座7回開催）やフードバンク「あったか元気便」への手作りマスク寄贈（330枚）などを実施しました。

第66回全国女性大会の30秒スピーチ動画では、中島和子部長が「皆さんの“ごちそうさまでした”を聴くために今後も食の楽しみ方を伝えていきたい」と発表しました。

またJA広報誌しまねびよりの「松江に伝わるふるさと料理」や山陰中央新報「かあちゃんの一押し献立」へ料理のレシピを提供し、地域の健全な食と農を守り、地産地消の促進に力を入れています。

そして、今年度は新たに「くにびきフレッシュミズ部会」を設立し、幅広い世代の仲間づくりにも取り組んでいます。



心ひとつに!

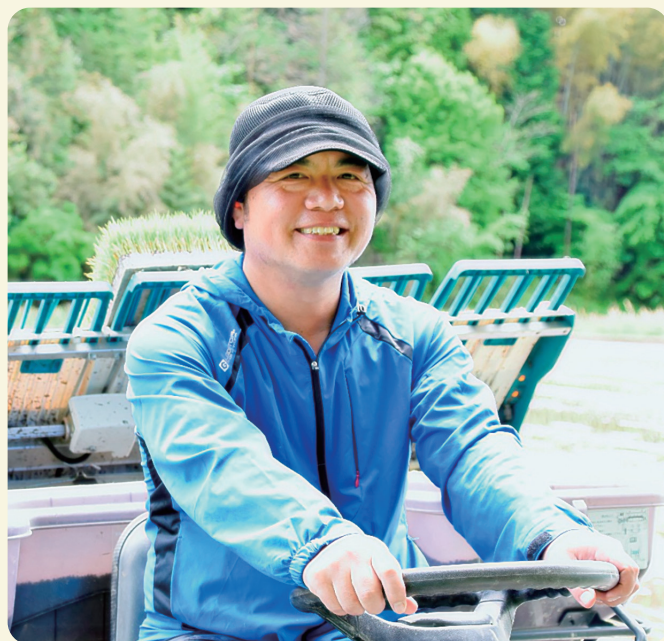


一所懸命青年連盟 雲南青年連盟

JA YOUTH

いわた たかし
岩田 孝史さん

地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献していきたい



JAしまね雲南青年連盟の副委員長を務める岩田孝史さん（47）は、仁多郡奥出雲町で水稲（27ha）を中心にソバ（2ha）や大豆（1ha）を栽培しています。

大田市の島根県立農業大学校（現：島根県立農林大学校）を卒業後、実家の農業を継ぎ、平成25年に岩田農園株式会社を設立。現在家族を含め7人で経営しています。

水稲は全て特別栽培米で生産しています。農業の「見える化」を実践しながら、「美味しまね認証」の取得や栽培面積の拡大を目指し、スマート農業の導入や軽量培土を使用するなど農作業の効率化も図っています。

岩田さんは、「これからも良いものを作り、地域農業の活性化や農地の保全に貢献していきたい。若手の頑張る農業者と一緒に青年連盟を盛り上げていきます」と意気込みを語りました。



あなたもチャレンジ!

家庭菜園

ミズナ (キョウナ)

小株から大株まで楽しむ



ミズナ(水菜)は古くから京都で栽培されていたツケナの種類で、キョウナ(京菜)とも呼ばれます。葉の形が細く、切れ込みの多い菜類ですが、柳の葉のような丸葉に分化したのが壬生菜です。本来は、大株にして水炊き、すき焼き、漬物に利用しますが、最近は大株取りして、サラダとして人気の高い野菜となっています。

栽培時期

小株取りでは、冬を除き種まきができ、夏まきは30日程度、春秋まきは40~60日で収穫になります。大株取りでは8月下旬~9月中旬に種まきし、12~3月に収穫します。

品種

葉の幅が狭く葉数の多いサラダ用の「京みぞれ」(タキイ種苗)、「京すだれ」(丸種)は茎が白く、シャキシャキした食感の品種です。大株取りでは「晩生白茎千筋京水菜」(タキイ種苗)などが良いでしょう。

土作り

幅100~120cmのベッドを作り、1平方m当たり堆肥1kg、苦土石灰100gと化成肥料(NPK各成分10%)100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます。

種まき

小株取りでは、じかまきとし、ベッドに幅20cm間隔の種まき溝を作り、およそ1cm間隔に筋まきします(図1)。種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護すると良いでしょう。大株取りでは移植栽培とし、セルトレイや小型ポットに4~5粒まき(図2)、間引きして本葉5~6枚の苗を作り、条間30cm、株間30cmに植え付けます。

管理

小株取りでは本葉が出て込み合ってきたら、適宜間引きを行い、最終的には5cmくらいにします(図3)。大株取りでは、種まきの1カ月後と2カ月後に化成肥料で、それぞれ1株5g程度の追肥をします。

病害虫の防除

アブラムシは、サンクリスタル乳剤など、アオムシ、コナガにはトアロー水和剤CTなど環境に優しい農薬で防除します。

収穫

小株取りでは葉の長さが25~30cmくらいが収穫適期です。一部を収穫し、株間15~30cmとなるように株を残し、中~大株取りにしても良いでしょう。大株取りでは、1kgくらいから収穫を始めます(図4)。

図1 種まき

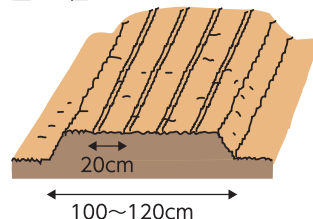


図2 苗作り

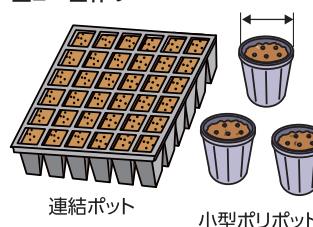


図3 間引き

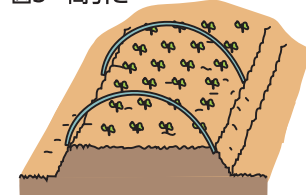
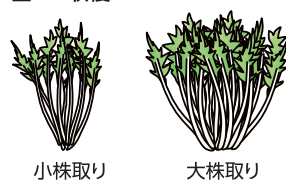


図4 収穫



園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

「アグリミーティング2021 & 農機総合展示会」中止のお知らせ

7月10日(土)、11日(日)に松江市のくにびきメッセで開催を予定しておりました「アグリミーティング2021 & 農機総合展示会」につきまして、日本国内及び島根県内で新型コロナウイルスの感染者数が増加していることを踏まえ、皆様の健康・安全面を考慮し、中止することいたしました。2年続けての中止となり、大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。
なお、アグリミーティングにおいて、各種相談等を予定されていた案件につきましては、最寄りの地区本部(TAC・農機センター等)までお願いします。

理事会情報 (4月30日開催)

【協議事項】

- ① J AしまねThanks!フラワーエールプロジェクトについて
- ② 令和2年度島根米需要拡大事業の取り組み実績ならびに令和3年度取り組み計画について
- ③ 令和3年度島根米の生産・集荷・販売方針について
- ④ 次期端末等のベンダ選定意向・台数報告について
- ⑤ 島根県農業信用基金協会への特別出資について
- ⑥ 共済規程の一部変更について
- ⑦ 令和3年度事業計画について
- ⑧ 目的積立金の取崩について
- ⑨ 令和2年度決算について
- ⑩ 令和2年度決算にかかる剰余金処分案について

- ⑪ 組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑫ 定款の一部変更について
- ⑬ 「海士町複業協同組合」への加入について
- ⑭ 広域連携法人へのJ A出資について
- ⑮ 関連団体等への役員就任について
- ⑯ 令和4年度以降の運営体制について
- ⑰ いわみ中央地区本部葬祭事業の子会社化にかかる就業規則等の廃止について
- ⑱ 島根県常例検査書(やすぎ地区本部)の回答について
- ⑲ 島根県常例検査書(本店)の回答について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



袋詰めする前のハマボウフウ

「頂きたい」と話しました。今年度の出荷は6月末まで続く予定です。

八束町はまぼうふう生産組合（安部敏樹組合長・8名）は5月13日、ハマボウフウの華芽の出荷を開始しました。

通年で出荷しているハマボウフウですが、華芽は開花前の5月から6月に収穫したもので、食材として提供している産地は全国でも珍しく、地域限定食材として人気を集めています。また、ほんのりとした苦味と滋味深い香りで幅広い料理に使用できることから、旅館や料亭でも重宝されています。

ただ时期的なものなので、この時期にしか味わうことができませぬ。

出荷初日は、選別したものを5本又は、7本で1袋とし、箱詰めを実施。約120袋を県内や関西、山陽の市場に向け、出荷しました。

安部組合長は「コロナ禍で需要に不安があるが、今年も良いものが出てきた。収穫期の今だけしか味わえない旬の味を、ぜひ皆さんに味わってほしい」と話しました。



はまぼうふう生産組合のメンバー



袋詰めする組員

お問い合わせ先
八束特産事業所
TEL..7612526

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

田んぼアートに挑戦！ 地域住民ら30名が田植え体験

異なる品種の稲を使って絵を描く「田んぼアート」の田植え体験が5月22日、西忌部町の水田で行われました。地域住民の他、島根県と松江市の国際交流員、協力団体の水道局職員やJA職員など30名が参加し、苗をひとつひとつ植えながら、稲の成長を願いました。



田植えの様子



水田にうっすらと浮かび上がる「みーもくん」

田んぼアートは、忌部の豊かな自然を体感し、稲作体験を通じて食の大切さを知ってもらおうと、忌部地区流出水対策協議会（松浦久義会長）などが、2011年から企画し、今年で11年目になります。

今年は、17aの水田に、古代米4種類ときぬむすめを植え、今年に延期された全国植樹祭にちなみ、「みーもくん」を描きます。事前に松江高専の教員と学生が、測量とデザインを担当しました。

くにびき地区本部運営委員も務める松浦会長が「コロナ禍で例年のように親子での参加は難しかったが、秋の稲刈りには参加してもらいたいと考えている。6月下旬ごろには苗が成長し見頃になると思う」と挨拶。その後、一斉に田植えを開始しました。あいにくの雨の中、参加者は田んぼに足をとられたり、ヒルなどの生きものに驚いたりしながらも懸命に田植えを行っていました。

カナダ出身で島根県の国際交流員のオリバー・マーシャルさんは「田植えの体験は今回で2回目。田んぼに入るのはとても気持ちよかった」と笑顔で話しました。

9月下旬には収穫祭を開催する予定です。



田植えを楽しむオリバーさん（右から3番目）ら国際交流員の方達

このページが申込書と
なります。

第7期生
募集!

サンサン女子大を開講します

JAしまねくにびき女性大学(サンサン女子大)で、カリキュラムを通じて新しいことを始めてみませんか?子育てのこと、仕事のこと、何でも話せる仲間を作ってみませんか?

年間
受講料

6,000円(税込)

※講座により別途材料代等がかかる場合がございます。
※受講料の返金はいたしませんので、ご了承願います。

受講
対象者

- ①松江市に在住もしくは勤務されている20~50歳代までの女性で、JAしまねの組合員
※組合員未加入の方は入学時に1,000円以上(1口:1,000円)の出資をお願いします。
- ②お子様連れでの受講、歓迎します。

募集
定員

30名

※応募者多数の場合は
申込み順とします。

期間

令和3年10月
~令和4年9月

応募
締切

令和3年
8月31日(火)

回	日程 ※予定	講座名(講師)	内容
1	令和3年 10月下旬(平日) 18時30分~20時	入学式 ●JA基礎講座 (サンサン女子大事務局) ●講演(大川真美氏)	<ul style="list-style-type: none"> ●JAしまねの概要や管内の農業情勢についてわかりやすくお話しします。 ●株式会社Cocoro Ribbon代表取締役でキャリアコンサルタントの大川真美氏の講演を行います。
2	令和3年 12月中旬(土曜日) 10時~13時	そば打ち体験(奥原展芳副学長)	地域特産「玄丹そば」のそば粉を使用したそば打ち体験です。
3	令和4年 1月下旬(土曜日) 10時~12時	味噌作り体験(くにびき女性部)	無添加の手作り味噌を作りましょう。熟成後、9月下旬にお渡し予定です。
4	令和4年 5月中旬(土曜日) 9時~11時	トウモロコシ種まき講座(奥名昭一氏)	中海干拓地の畑でトウモロコシの種まきと収穫の農業体験を行います。
5	令和4年 7月下旬(土曜日) 9時~11時	トウモロコシ収穫講座(奥名昭一氏)	
6	令和4年 9月下旬(土曜日) 10時~13時	卒業式 料理講習(大川真美氏)	山陰中央新報「シンプル!つくりおきアレンジ」連載中の大川真美氏から料理を学びます。

※開催時期が近づきましたら、詳細を改めてご案内いたします。※諸般の事情により内容を変更、中止とする場合がございますので、ご了承ください。

〈お申し込み方法〉

以下の「申込書」をFAXで総務課まで送付いただくか、くにびき地区本部各支店窓口まで直接提出ください。または「申込書」の内容を記載の上、Eメールにて総務課まで送付ください。

〈お申し込み先〉JAしまねくにびき地区本部 企画総務部総務課 TEL:0852-55-3000

〒690-0823 松江市西川津町1635-1 Email:community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

JAしまねくにびき女性大学入学申込書		JAしまねくにびき地区本部総務課行 FAX:0852-32-6870	
フリガナ お名前	ご住所		TEL
	生年月日		
お子様がいいらっしゃる方へ(○印をどちらかにつけてください) お子様連れでの受講を希望されますか? 希望する・希望しない			携帯

個人情報の取り扱いにつきましては女性大学の運営、または当JAの各種サービスの提供を行うためだけに利用します。

米麦水分計の点検整備のご案内

本年も良質米生産(過乾燥・水分過多防止)に取組むことを目的に米麦水分計の点検整備を実施します。点検整備をご希望の方は、**締切日までに最寄の支店または農機センターまでご持参下さい。**

1. 締切日：令和3年6月30日(水)
2. 対象銘柄：ケット科学研究所・静岡製機社製の水分計
3. 留意事項：①水分計に荷札を付け、住所・氏名・電話番号・型式を記入し、事前に不調・不具合が分かっている場合はその内容についても記入して下さい。
②付属の試料皿・ピンセットがないと点検できませんので、必ず添付して下さい。
4. 完了予定日：8月上旬
点検が完了しましたら各担当がお届け致します。
5. 点検整備代は次のとおりとします。(税込金額)
締切日以降の依頼については、点検料が割高になりますのでご承知願います。

*点検代金は口座引落とさせていただきます。

項目		締切日までの受付分
点検料金	ケットライスタ型	1,650円/台
	ケットPM・PB型	3,300円/台
	静岡製機水分計	2,200円/台
	調整料金	2,200円/台
	修理料金	3,300円/台
	部品代金	実費

☆今回の点検整備は、水分値の適正表示を確認するものであり、点検結果を保障するものではありませんので、ご承知おき下さい。

6. お問い合わせ先 くにびき地区本部 農機センター TEL:55-3066

盆提灯・盆礼ギフト 展示予約会のご案内



※写真はイメージです。

盆提灯・盆礼ギフト・掛軸・防災マット・経机などを下記の会場でご予約会を開催いたします。ご来場いただき、この機会にご予約ください。

とき 6月25日(金)・26日(土)・27日(日) AM9:30~PM4:30
[27日はPM3:00まで]

ところ JALまね くにびき地区本部 教育文化センターSan・san館

新型コロナウイルス感染防止対策を実施

盆提灯新時代突入!! 組み立て簡単提灯が登場しました!!

期間中以外でも、ご相談を承ります。お問い合わせは

くにびき葬祭センター
TEL:0852-36-4570

2021年夏の **農機・自動車合同**

大展示会

開催日

令和3年 6 / **26** 土 令和3年 6 / **27** 日

9:00▶15:00

松江南、東出雲町、
八雲町、玉湯町、
宍道町に
お住まいの方

9:00▶15:00

松江北、東、鹿島町、
島根町、美保関町、
八束町に
お住まいの方

※感染防止対策(3密の回避)として地域分散でご来場をお願いします。

開催場所

農機・自動車センター

松江市西川津町 1635-7
農機センター TEL.0852-55-3066
自動車センター TEL.0852-55-3077

新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては中止する場合があります事をご了承下さい。

ご来場の際には必ずマスク着用をお願いします。また入場時に、検温・手指消毒などの感染防止についてのご協力をお願いします。



特殊詐欺を未然に防止！ 警察から感謝状

J Aしまね玉湯支店は5月24日、特殊詐欺を未然に防いだとして松江警察署から感謝状を受け取りました。

4月22日、「社会保険料の還付がある」と松江市職員を名乗る人物から電話を受けた松江市在住の組合員が、ATMで振込みをするため同支店を訪れ、窓口担当の高濱祐美子職員に相談。状況を聞いた稲田千寿子支店次長が、詐欺の可能性が高いと判断し同署に通報しました。警察官到着までの間にさらに詳しい事情を聴き取りました結果、詐欺だと確信。振込を未然に阻止しました。



感謝状を受け取る高濱職員

同警察署の荒薦章二署長から感謝状を受け取った高木正樹支店長は「特殊詐欺犯罪が実際に組合員・利用者様の身近に迫っている事を改めて実感した。今回、還付金詐欺の被害を防げた事については、金融機関としては当然のことをしたと思っっている。これからも組合員・利用者様の財産を守り、信頼され頼りにされるJAを目指して事業活動を行ってみたい。」と話しました。



感謝状を手にする高木支店長(右)、高濱職員(中央)と荒薦署長(左)

当地区本部では毎年、年末に同警察署の協力のもと、防犯研修を行い、職員教育に努めています。

くまびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理



ピーマン味噌

夏野菜の定番のピーマンを使った、簡単に作れてごはんのお供にぴったりのピーマン味噌のレシピを紹介します。

【材料】

- ・ピーマン……………400g(約15個)
- ・醤油……………200cc
- ・唐辛子……………1本(適量)
- ・砂糖……………200g
- ・米麴……………150g

【作り方】

- ①米麴をボールの中でバラバラに崩しておく。
- ②調味料は合わせて鍋に入れ沸騰させて火を止める。
- ③温度が50～60度が下がったら米麴を入れ、一晩放置する。
- ④種を取ったピーマンをみじん切りにする。唐辛子は、お好みに合わせて入れる。
- ⑤麴とピーマンと唐辛子を③の鍋に入れ、火にかけ沸騰したら弱火にして30分～1時間ぐらい煮る。
- ⑥煮ついたら、火を止めて出来上がり。

【ポイント】

ピーマンによって出てくる水分が違いますので、様子を見ながら煮詰めて下さい。火が強すぎると麴がふっくらしないうちに固くなってしまいますので、弱火で、じっくり麴の甘味を引き出して下さい。
家庭菜園でたくさん出来たピーマンを使って大量に作り、冷凍しておけば保存もできます。

今月の料理人

川津支部

- 足立 裕子 さん (左)
津森 巴 さん (中央)
峯谷 晴子 さん (右)



7月くまびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・予約先電話番号・時間
6	火	税務相談会	川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00～12:00
7	水	税務相談会	東出雲支店 (TEL: 52-2022) 10:00～12:00
8	木	税務相談会	八雲支店 (TEL: 54-1122) 10:00～12:00
9	金	税務相談会	玉湯支店 (TEL: 62-1313) 10:00～12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先：開催会場となる支店

〇くまびき統括支店ローン営業センターでは、土曜日(10:00～15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※7月の土曜営業日は3日、17日、31日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

7月 ふれあい訪問日

7月14日(水)・15日(木)



二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ

1	6		11	14	18	22
2		8		15		
		9	12		19	
	7			16		
3			13			23
4		10		17	20	
5					21	

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

- ①仙人が食べているというもの
- ③学校を出て家まで帰ること
- ⑥年齢を数えるときに使う言葉
- ⑦ラジオから1970——の曲が流れてきた
- ⑧この虫が作る繭から絹が取れます
- ⑩下から5桁目です
- ⑫ものは一だ、まずやってみよう
- ⑭サーフィンやヨットを楽しめる場所
- ⑯「やれ打つな蠅（はえ）が手をすり足をする」は小林——の句です
- ⑰日本髪に挿す飾り
- ⑱ゆでたそうめんの水を切るときに使います
- ⑲親同士が兄弟姉妹です
- ⑳将棋に似た西洋のゲーム

ヨコのカギ

- ①雨や日光を避けるために差します
- ②緑に黒のしみがあがる果実
- ③増（ぞう）の反対語
- ④ヤッホーと叫ぶとヤッホーと返します
- ⑤片目をパチンとつぶります
- ⑦キャッツアイとも呼ばれる宝石
- ⑨木材を薄く加工した物
- ⑪一つ目小僧とか小豆洗いとか。——変化
- ⑬量より重視されることもありま
- ⑮爽やかな香りのするハーブ。ペパー——
- ⑰つば焼きにするとおいしい貝
- ⑲漢字で書くと雑魚。取るに足りないものこと
- ⑳みんな出掛けている状態

応募要項

●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（J A しまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1
J A しまね くにびき地区本部 総務課 「クイズ」係
2021年7月2日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「ミスタマリ」

ホ	タ	ル	シ	ヤ	チ
ウ	ン	チ	カ	ミ	チ
ア	ボ	カ	ド	ヨ	
ン		ジ	リ	ツ	ト
	ア	アル	カリ		
ヤ	マ	ナ	シ	ワ	ニ
シ	グ	マ	シ	ズ	ク

川柳の広場

最優秀賞

ポケットが多くて迷い娘が笑う

江津市 平田千恵子様

優秀賞

寝たきりになっても母は子を案じ

浜田市 岩本 静代様

娘来るエールをもらい元気出る

出雲市 青山 孝子様

せつかな夏が早めにやって来た

兵庫県 小田 和子様

佳作

人生に待ったがあればやり直す
奥出雲町 堀江 英子様
ワクチンを待っていたのに決めかねる
雲南市 鳥屋尾寛子様
家事介護手慣れた妻の日が暮れる
出雲市 加本 精一様
田舎暮らし分けてあげたいこの空気
出雲市 野中 花蓮様
簸川野に農夫がいらない農繁期
出雲市 大本 栄様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」7月号 定価922円。ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



J A しまねよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）7月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、J A しまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
J A しまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
F A X : 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

選句者 島根県川柳連盟会長
竹治ちかし先生



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

サマーキャンペーン 2021

キャンペーン期間

2021年
 前半 6.1火 ▶ 7.2金
 後半 7.5月 ▶ 7.30金

定期貯金



当てて食べよう **しまね和牛**



期間中、定期貯金を

① 30万円以上新規 または 増額でご契約いただいた方

期間中毎週抽選!! 抽選で毎週 **29**名様(計261名様)に
5,000円相当の **しまね和牛**(焼き肉用)をプレゼント!!

② 100万円以上新規 または 増額でご契約いただいた方

Wチャンス!! 抽選で **29**名様×**2**回(計58名様)に
10,000円相当の **しまね和牛**(ステーキ用)をプレゼント!!

期間中、
 対象取引をご契約いただいた方へ
よりのぞうヨットシバック

(サイズ: 約H370mm×Y360mm×D110mm)

を先着**3,500**名様にプレゼント!!

詳しくは、お近くのJA窓口までお問い合わせください。



A4サイズで
 使いやすい!!

※写真はイメージです。
 ※品切れの場合は他の商品に
 代えさせていただきます。

応募方法 / 対象商品ご契約額30万円につき抽選権を1口お付けします。

Wチャンス

対象商品ご契約額100万円につき抽選権を1口お付けします。

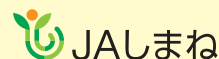
※上乗せ金利の適用があるものを除きます。

※窓口でお預け入れいただいたものに限ります。

抽選権の失効 / 抽選日の前日までに懸賞対象商品が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。

抽選・当選発表 / 期間中、毎週月曜日に抽選を行います。ご当選された方に対し、当選通知をお送りします。賞品は随時発送させていただきます。

個人情報の取扱 / 取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。



シロアリ警報!初夏は羽アリが多発!!

無調査料



お宅は大丈夫
 ですか?

シロアリ来襲

初夏は羽アリが出る季節。早めの防除があなたの家を守ります。

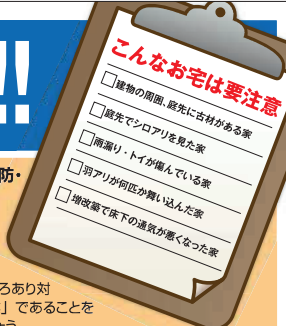
シロアリの予防・駆除は確かな実績と安心のJAへご相談下さい。

シロアリ防除は「(公社)日本しろあり対策協会登録企業」であることを必ず確認しましょう。

JAのシロアリ予防・駆除は安心です。毎年莫大な量の木材が、シロアリや木材腐朽菌によって失われております。JAとして、組合員の皆様の住まいの耐用年数を延ばし、住まいを守る防災対策として、シロアリおよび腐朽被害対策を行っております。

環境に適合した薬を使用 (公社)日本しろあり対策協会が効力・安全性の審査に合格した認定薬剤を使用しています。

資格者(プロ)による施工 (公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にのっとりしろあり防除施工士が施工しています。



取扱業者 **株式会社 コタマサイエンス**
 (公社) 日本しろあり対策協会正会員
 会員番号 鳥根県 002
 会員番号 鳥取県 002
 (本社) 〒690-0048 鳥根県松江市西塚島 2丁目 8-23
 本社 TEL.0852-43-0852 FAX.0852-43-0866

JA全農基本契約業者「藤児五商会」特約施工店
 松江営業所 TEL.0852-26-6757 益田営業所 TEL.0856-22-5390
 江津出張所 TEL.0855-52-6852 隠岐営業所 TEL.08512-2-2471
<http://www.kodama-s.co.jp/>

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コタマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしく願い致します。

お問い合わせは、最寄のJA各支店へご連絡ください。

材料 (4人分)

- あご (飛魚) …… 4羽 (4尾)
- 小麦粉 …… 大さじ3
- 油 …… 大さじ2
- 濃口醤油 …… 大さじ2
- 砂糖 …… 大さじ1
- A みりん …… 大さじ1
- 酒 …… 大さじ1
- 水 …… 大さじ1
- 炒りごま (白) …… 適量
- 青しそ …… 8枚

作り方

- ①あご (飛魚) は頭と内臓を取って、3枚におろす。
- ②おろした魚に小麦粉を薄くまぶす。
- ③フライパンに油を入れ中火で熱し、②の魚を並べ入れて両面色よく焼く。
- ④両面焼けたら余分な油をふき取り、混ぜ合わせたAを加えてからめる。
- ⑤皿に青しそを敷き、かば焼きを盛り付け、最後に炒りごまを振って完成。

あごのかば焼き



コメント

・初夏の訪れを告げるあご (飛魚) は、古くは「田植え魚」とも呼ばれ、田植えの助っ人の方々に対してよく振るまわれていました。あご料理は、刺身や焼き魚、南蛮漬け、フライやソテー、もちもちとした食感の卵の煮つけ、風味豊かなアラ汁など様々な味が楽しめます。

アレンジ

・あごをアジ、イワシ、サンマ、アナゴ等の魚に変えても美味しくできます。
・ご飯の上に乗せて、かば焼き丼も楽しめます。

枝豆腐



材料 (4人分)

- 枝豆さや付き …… 100g
- 豆乳 …… 200cc
- くず粉 …… 50g
- A 水 …… 200cc
- 昆布茶 …… 小さじ1
- 飾り用枝豆 …… 適量

コメント

・口のちいばいに広がる枝豆の香りを楽しめる一品です。

・枝豆は体内で合成できない必須アミノ酸をバランスよく含んでいる為、良質なたんぱく質源とされています。

アレンジ

・豆乳を牛乳に変えるとコクが増します。
・くず粉が手に入らない時は、片栗粉やコーンスターチでも代用できます。

作り方

- ①枝豆は塩ゆでしてさやから出し、豆乳を加えて、なめらかになるまでミキサーにかける。
- ②鍋にAを入れて粒々がなくなるまでしっかり混ぜて溶かし、①も加えて中火にかけ、木べらで底から混ぜる。
- ③固まってきたら、一度火からおろし、全体がなめらかになるまで混ぜ、再び火にかけ、3分間しっかりと練る。
- ④熱いうちに水で濡らした型に流し入れ、粗熱を取ってから表面に張り付けるようにラップをかけ、冷蔵庫で冷やす。
- ⑤④を切り分けて器に盛り付け、飾り用の枝豆をさやから出して飾って完成。



健康散歩

胸部CT検診車が新しくなりました!!

JA島根厚生連

～より速く正確な胸部CT検診をご提供いたします～

令和3年度の胸部CT検診は、検診車をリニューアルし、新しい装置で検査いたします。

日本人の死因第一位は「がん」であり、がんの部位別死亡者数の第一位は「肺がん」です。農業者・女性部健診 (JA女性部健診) や担い手人間ドックにセットしている胸部CT検診は、肺がんの発見に有用です。その発見率は、胸部X線検診に比べ高く、胸部X線検診では発見が難しいとされる5mm程度の微細ながんの発見も可能です。微細ながんを発見することができるのは、マルチスライスCT装置で検査を実施しているためで、令和3年度より検診装置が新しくなることで、以前より速く、正確な胸部CT検診をご提供いたします。

肺がんは「たばこを吸う人の病気」というイメージが強く、実際に肺がんの原因としてはっきりしているのは喫煙です。また、家系にがん歴・呼吸器系疾患のある方、咳・痰などが続く方がハイリスク者ですが、近年、非喫煙者の方や女性の方にも多く肺がんが発見されています。つまり肺がんは、喫煙以外の習慣や受動喫煙、環境との因果関係もあり、たばこを吸ったことがない人でも十分に注意する必要があります。肺がんは早期に発見できれば、治療率はぐんと良くなります。胸部CT検診は、早期がんの発見率が高く、その治療成績も良好です。この度新しくなった胸部CT検診車でぜひ受診ください。

(40歳未満の方にはばばく低減や肺がんになるリスクが低いこと等を考慮し、胸部CT検診を実施しておりません。)



★令和3年度胸部CT検診車をリニューアルして変わること★

1. 多くの情報と高精細な画像が得られるので、肺がんの早期発見が可能となります。
2. 少ないX線量でも精度の高い画像提供が可能となります。
3. 撮影時間が短縮され、息を止める時間が短くなり、検査がより楽になります。

【編集後記】 皆さんはどの季節が一番好きですか?今までは秋!と即答していましたが、最近、新緑の魅力に気付き、この季節が大好きになりました。やっぱり島根県は緑がキレイですね。田植えが終わり、皆さんのもとにしまねびよりが届くころには、田んぼの緑もキレイな季節になっているのではないのでしょうか。今から楽しみです。(安)